

環境マネジメント (ISO14001) の取り組み

2004年1月に本社事務所がISO14001を認証取得し、その後関東事務所・山静事務所・北陸事務所がそれぞれ本部として認証取得しました。2008年2月、本社が各本部を統合、同年8月にはユーストアを合併し組織変更・拡大を図りました。そして2013年8月、ユニーグループ・ホールディングスが認証範囲に加わりました。また審査機関は、2004年から2009年までオリオン・レジストラ・ジャパンでしたが、2010年からは株式会社日本環境認証機構 (JACO) に依頼しています。



サーベイランス審査



サーベイランス部門審査



サーベイランス現場内審査



店舗でISO14001取得に向け活動開始

今後店舗での環境活動を推進するためにISO14001の認証取得を店舗へ広げていきます。2014年2月からモデル店舗 (アピタ千代田橋店、アピタ長津田店、アピタ富士吉原店、アピタ松任店) にてISO14001理解活動を開始しました。モデル店舗は2014年12月に認証取得を目指しています。

ISOの目的目標には、従業員から出た環境側面をテーマにして取り組んでいきます。



店舗での理解活動の様子 (アピタ長津田店)



環境側面の特定 (アピタ富士吉原店)



内部監査員養成合宿



従業員集合教育

緊急事態への対応

環境影響で重大なものに災害があります。愛知県稲沢市の本社では2011年の東日本大震災レベルの災害が東海地方におこることを想定し、防災訓練を計画して実施しました。



本社合同消火訓練

「ユニーグループ危機管理センター」の建設

東日本大震災を教訓に、巨大地震などの大規模災害に対応するため、2014年6月、ユニー本社敷地内に「ユニーグループ危機管理センター」を建築しました。

目的

- 災害により本社や店舗の機能が制限された場合、営業復旧の柱であるIT物流本部が常駐する「ユニーグループ危機管理センター」を拠点に店舗をサポートし、速やかな営業復旧や営業継続に繋がります。
- 大型地震発生時、免震・耐震構造に優れた「ユニーグループ危機管理センター」を、来社されたお取引先様や本社従業員の一時避難場所として利用します。

特徴

- 液状化対策として、地中深くまでコンクリートの区画壁を造り、その上に建屋を造る「TOFT工法」を採用しています。
- 停電・断水に備え、3日間使用可能な「非常用発電」「上水」システムを屋上に設置しました。
- 浸水の影響を受けぬよう、主要フロアや設備類は2階以上に配置しました。



災害時の店舗支援拠点の設置

ユニーグループ危機管理センターは、災害時に対策本部を設置し店舗支援を行う拠点として、また稲沢本部勤務のグループ従業員の避難場所としても活用されます。各店舗は、速やかな営業復旧と営業を継続することで、地域への支援拠点となって地域社会に貢献します。安全・安心を確保する拠点の充実に取り組んでまいりますのでよろしくお願い致します。



業務サポート本部
本部長 大野 明